

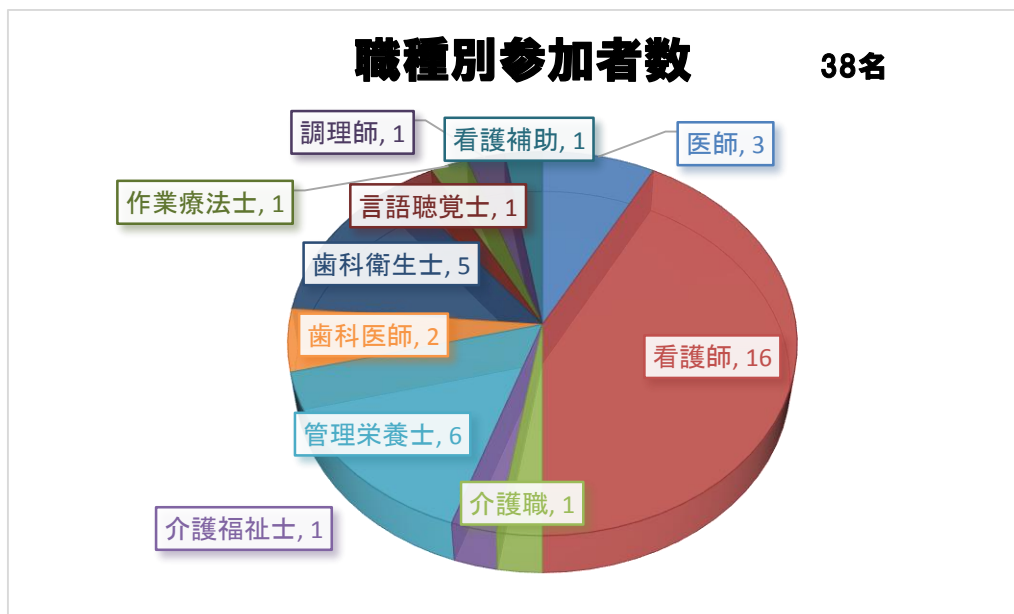
第12回秋田実技セミナー 開催報告

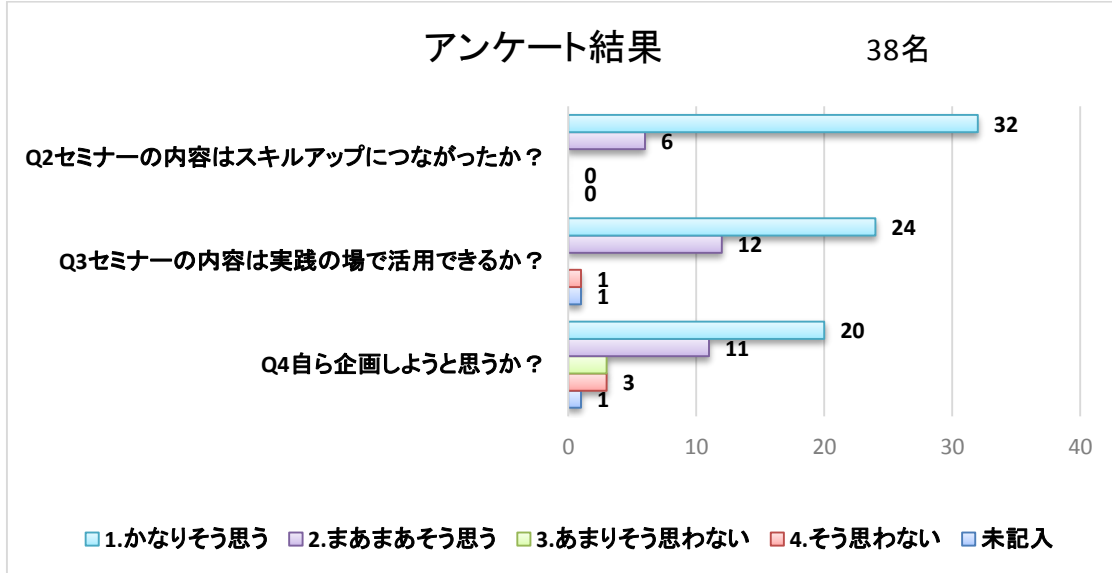
～開催目的～

要介護高齢者や、摂食・嚥下障害者の口から食べたいという願いを実現するために、支援者の口から食べる技術力の向上を目指し、摂食嚥下療法や、リハビリ、ケアマネジメント力を駆使しながら、誤嚥性肺炎のリスクがある方やさらなる医療依存度が高い方々においても口から食べたい願いを実現できるように取り組みます。「食べて幸せに生きてほしい」という強い情熱のある方々と一緒に、安全で優れた食事介助技術とマネジメント力を融合し、口から食べて幸せに生きるための技術を学びます

～開催概要～

- ◇日時:平成 27 年 3 月 21 日(土) 8 時 45 分 ～ 15 時
- ◇会場:由利本荘看護学校
- ◇主催:NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会
- ◇共催:NPO 法人口から食べる幸せを守る会





Q2)感想

- * 普段、指摘してくれる指導者がいないためできていない点を指摘してもらえてよかったです。
- * 誤嚥したら絶飲食とするのが当然と思っていましたが治療進めながら早期に食事開始に向けてケアするほうが良いと知り驚いています。
- * やりたい！食べさせたい！もっと安全にケアしたいと思ってきて今日から前に進むことができます。
- * 介護の実務経験が無いため知識も少なかったのですが実際に体験することで患者さんがどうしたら嫌なのか感じることができました。

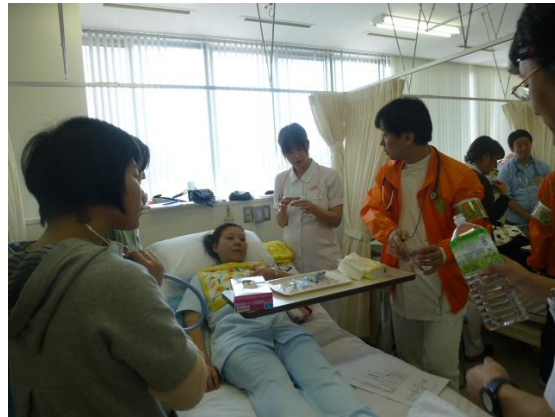
Q3)感想

- * 知識としてあるだけでも食事状態やレベルの把握などにも役立てられると思います。もちろん美味しく食べてもらうためステップアップとして自ら関わる機会があれば積極的に活かしていきたいです。
- * 在宅看護において指導の際かなり活かせると思う。
- * 入院患者に対して評価を行いテストを行っていけるようになるのではないかと思います

Q4)感想

- * まだ危険な食事介助をしているスタッフが多いので今回一緒にセミナーに参加してくれた看護師さんと協力して企画していきます。
- * セミナーをうけてもらわないと共感できないとおもうので医師、栄養士、介護、看護師みんなに受けてもらいたい。

～セミナー中の様子～



受講者の皆様・スタッフの皆様ありがとうございました。